

# 都市再生整備計画

くわなえきしゅうへんちくだい き  
桑名駅周辺地区(第2期)

みえけん くわなし  
三重県 桑名市

第1回変更

令和5年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	三重県	市町村名	桑名市	地区名	桑名駅周辺地区(第2期)	面積	29.0 ha
計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度				

### 目標

- ・暮らしやすくにぎわいのあるコンパクトなまちを目指す。
- 桑名駅東西の連携強化を図るとともに、交通結節機能を強化し、にぎわいと活力ある拠点として整備を進める。
- 桑名駅の安全で利便性の高い交通結節機能を再構築するとともに、にぎわい創出や安心して暮らせる都市機能を集積させるまちづくりを進める。
- 桑名駅西側の密集住宅地の住環境改善を図るとともに、持続可能なコンパクトシティの実現のための住みよいまちづくりを進める。

### 目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)

本市は、日本の東西・南北を結ぶ交通・物流の要所にあり、日本のものづくりに中核で経済力を持つ愛知県・名古屋市と三重県をつなぐ結節点である。現在、東海環状自動車道西回りの整備が進みつつあるほか、リニア中央新幹線が整備されると、東京から桑名の移動距離が1時間程になり、将来的にその優位性は一層高まると期待されている。

この地理的優位性を活かすために、都市構造としての環境整備をおこないつつ、広域道路網へのアクセス向上および公共交通の活用といった地域交通の円滑化を図り、観光、交通資源の連携、中心市街地の魅力向上に取り組んでいく。

中心市街地となる桑名駅周辺においては、自由通路の供用開始により鉄道による東西の分断が解消されたが、交通結節点としての更なる機能強化のため、桑名市の玄関口である桑名駅周辺の都市基盤や交通結節点としての整備を進め、都市機能施設を再構築するとともに、駅西側の密集市街地の住環境改善を進め、桑名市の玄関口としてにぎわいある安心して暮らせる都市をめざす。桑名駅の東側は国内有数の観光都市として、「桑名市の顔」となるシンボル空間としての整備、西側は優れた住宅都市として、市民の利便性を高める生活利便施設の構築を目指し、桑名の魅力があふれ、市民や利用者の皆さんが満足でき、次世代にも誇れる「桑名力」を活かした桑名駅周辺整備を進めていく。

#### まちづくりの経緯及び現況

##### ■桑名市について

・桑名市は鉄道・高速道路網等による広域アクセス性に優れた名古屋大都市圏の隣接都市で、平成16年の1市2町(桑名市・多度町・長島町)の合併により、人口約14万人の都市となった。

・桑名市の中心市街地は、旧桑名城の城下町を中心として形成されており、桑名駅の東側に位置している。また、市域の南北を通過するJR関西本線及び近鉄名古屋線の桑名駅の西側については、名古屋圏のベットタウンとして昭和の時代から大規模開発により新市街地が形成されてきた。

・桑名市の中心市街地と新市街地は、鉄道により分断され東西交流が妨げられてきたが、平成28年度より桑名駅自由通路の整備に着手し、令和2年8月に供用開始した。その中、桑名駅周辺整備においては、桑名市総合計画で位置付けている“地理的優位性を活かした元気なまち”と“桑名をまちごと「ブランド」に”の2つのビジョンを踏まえ、平成30年8月に「桑名駅周辺地区整備構想」を策定し、桑名の玄関口としてふさわしく、安全で便利な交通結節点づくり、賑わいを生み出し、安心して暮らせる都市機能を集積した、市民生活と観光交流の拠点づくりの構築を目指している。

##### ■桑名駅周辺地区の現況

・現在、桑名駅の西側において、市域西部の大規模新市街地及び西側近隣市町(いなべ市・東員町)への玄関口として、桑名駅西土地区画整理事業(H13~)を事業進捗中である。

・桑名駅周辺について、当市の玄関口としての交通結節点の強化とともに玄関口としてふさわしいにぎわいのある広場の整備が求められている。

#### 課題

・桑名駅周辺の混雑を減らし、利便性の向上を図るとともに桑名駅周辺と中心市街地の機能強化、魅力づくりが必要である。

・高齢化社会に対応し、歩いて暮らせるまちづくりを進めるため、駅を中心としたコンパクトなまちづくりの再編整備が必要である。

・桑名の玄関口としてふさわしく、安全で便利な交通結節点づくりが必要である。

・にぎわいを生み出し、安心して暮らせる都市機能を集積した、市民生活と観光交流の拠点づくりが必要である。

#### 将来ビジョン(中長期)

##### 【桑名市総合計画】

中心市街地の10年後の目指す姿として、「暮らしやすくにぎわいのあるコンパクトなまち」を掲げている。

##### 【桑名市都市計画マスタープラン】

桑名駅周辺の中心市街地においては、実施中の土地区画整理事業等を継続的に進めつつ、民間事業者とも協働しながら、市の顔として誇りを持つことのできるようなまちづくりの展開を図る。

**都市構造再編集中支援事業の計画**

**都市機能配置の考え方**

中心市街地は、桑名駅にJR、近鉄、養老鉄道、三岐鉄道が乗り入れ、公共交通の結節機能が充実しており、市役所、図書館、パブリックセンター等のほか、平成30年4月に開院した新病院「桑名市総合医療センター」など、公共公益機能をもとより有している地域であるため、桑名市の玄関口にふさわしいにぎわいと活力のある拠点として都市機能の更なる集積を図る。

多度、長島、星川地区については、鉄道駅周辺に一定の都市機能の集積が見られるため、地域拠点として生活サービス機能と地域コミュニティの維持を図る。

西部丘陵部については、バス運行頻度が高く、高速バスによって結ばれる名古屋圏のベッドタウンとして大山田地区を中心に生活圏を形成しており、病院や商業施設等、幹線道路の利便性を活かした都市機能の整備が進んでいるため、地域拠点を補完する生活拠点として生活サービス機能の維持を図る。

**都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方**

桑名駅東口については、民間の創意工夫あふれる事業提案を募集、プロポーザルによる事業者選定を行い、民間事業者のノウハウを活用した駅前広場の整備と商業施設の誘導により、にぎわいと活力の創出を図る。

桑名駅西口については、土地区画整理事業により、狭隘な道路の拡幅と歩車分離した大型の路線バスが乗り入れ可能となる駅前広場を整備し、安全で利便性の高い交通結節点機能を構築する。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

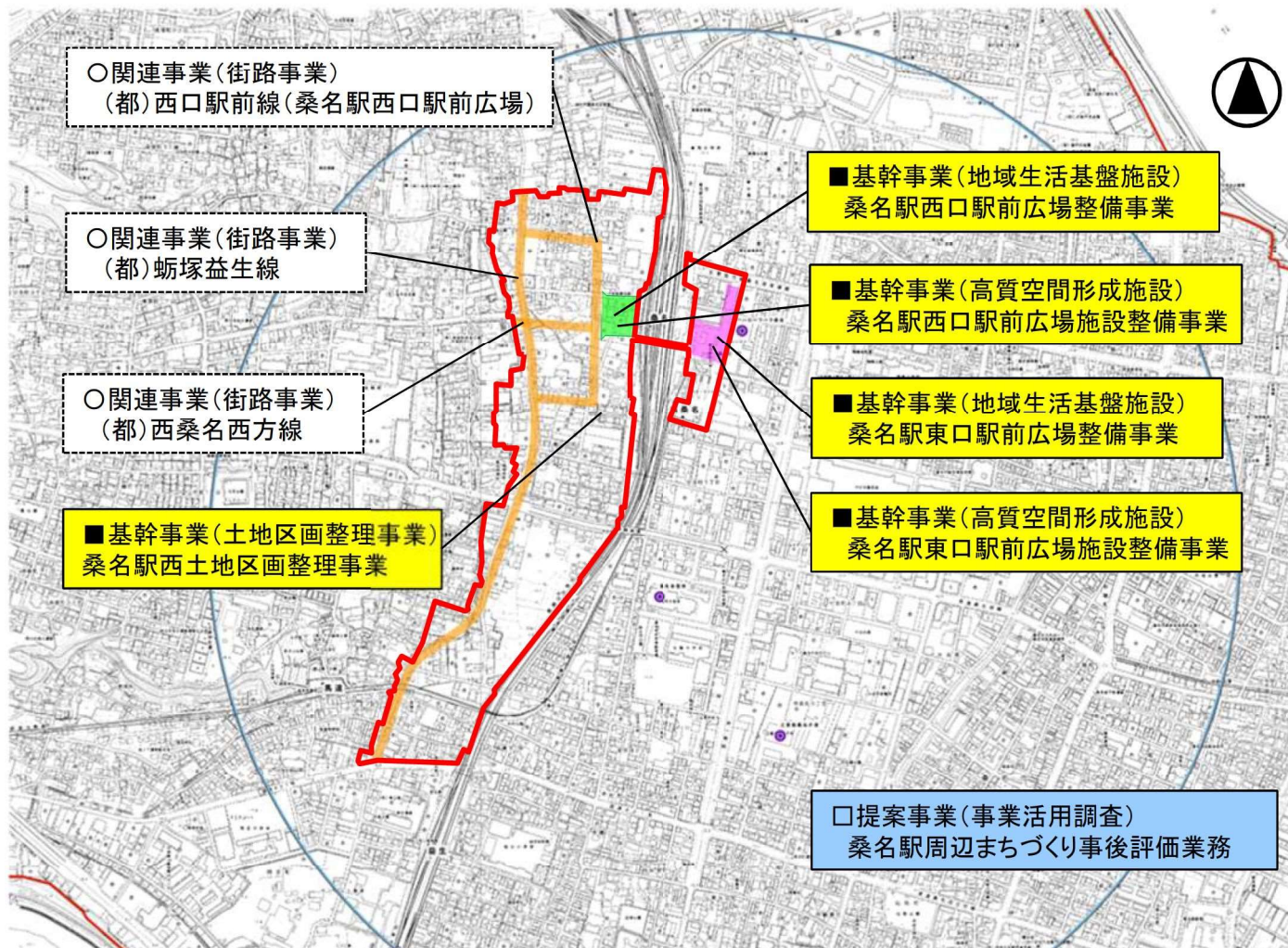
**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
桑名駅西口発車の路線バス本数	本/日	桑名駅西口発車の一日あたりの路線バス本数	桑名駅西口の路線バス発車本数の増加を利便性の高い交通結節点機能として評価する。	3	R3	17	R8
桑名駅前の観光案内所来訪者数	人/年	桑名駅前の観光案内所の年間訪問者数	観光案内所の年間訪問者数の増加を桑名駅周辺のにぎわいとして評価する。	3,661	R2	9,600	R8
土地区画整理事業区域内の行政区の人口	人	市の将来推計人口を加味した土地区画整理事業区域内の行政区の人口	土地区画整理事業区域内の行政区の人口を住みよいまちとして評価する。	2,066	R2	2,076	R8





目標	・暮らしやすくにぎわいのあるコンパクトなまちを目指す。	代表的な指標	桑名駅西口発車の路線バス本数 (本/日)	3	(令和3年度)	17	(令和8年度)	
	■桑名駅東西の連携強化を図るとともに、交通結節機能を強化し、にぎわいと活力ある拠点として整備を進める。		桑名駅前の観光案内所来訪者数 (人/年)	3661	(令和2年度)	→	9,600	(令和8年度)
	■桑名駅の安全で利便性の高い交通結節機能を再構築するとともに、にぎわい創出や安心して暮らせる都市機能を累積させるまちづくりを進める。		土地区画整理事業区域内の行政区の人口 (人)	2066	(令和2年度)		2,076	(令和8年度)
	■桑名駅西側の密集住宅地の住環境改善を図るとともに、持続可能なコンパクトシティの実現のための住みよいまちづくりを進める。							



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:yellow;"></span>	基幹事業
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:lightblue;"></span>	提案事業
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; border:1px dashed black;"></span>	関連事業

1:10,000

0 250 500 750m

# 桑名市都市構造再編集集中支援事業事前評価シート

計画の名称: 桑名駅周辺地区(第2期) 事業主体名: 桑名市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○